

マニフェストの項目	説明文
高齢者など多くの世代から、これからも選ばれるまち	
高齢者が主役の選ばれるまちを目指します	
43 認知症の人やその家族を社会全体で支える認知症対策を進める「オレンジシティ（認知症を皆で支える都市）」を宣言します	市民、事業者、行政が一体となって、認知症の予防、理解促進を図るため、「オレンジシティ」を宣言し、だれもが幸せに自分らしく生きることができる地域社会を目指します。
44 認知症の早期発見・早期対応に取り組みます	認知症の早期発見・早期対応に取り組み、認知症の人やその家族の視点を重視した支援を推進します。
45 疾病予防・介護予防を促進します	だれもがいつまでも元気に活躍できる社会を実現するため、ICTを活用した通いの場での取組や、フレイル対策等の疾病予防・介護予防を積極的に推進します。
46 介護人材の育成や確保に向けた取組を進めます	介護や支援を必要とする人が安心して安定的な質の高い介護サービスを受けることができるよう介護人材の育成や確保に向けた取組を進めます。
47 高齢者の生きがいがづくりと社会参画を促進します	高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと暮らせるよう、生きがいがづくりや社会参画の促進に取り組みます。
48 スマートフォンで高齢者のウェルビーイングを高めます	高齢者の困りごとの解決や健康寿命の延伸を目的に、金融、保険、医療、エンタメなど様々な分野の民間による高齢者サービスをスマートフォンで提供する取組を検討します。
49 高齢者等が安心して住み続けられる住環境を提供します	増加する要支援者の入居支援のためのマッチングを行うとともに、高齢者のより快適な住宅環境への住み替え、空き家の活用を促進します。

マニフェストの項目	説明文
高齢者など多くの世代から、これからも選ばれるまち	
誰もが主役。ウェルビーイングなまちを目指します	
50 支え合う地域づくりを推進します	地域共生社会の実現に向け、地域福祉に関する意識醸成や関係機関の連携強化を図り、支え合う地域づくりを推進します。
51 相互に支えあい、人と人との「つながり」が生まれる社会を目指します	孤独・孤立対策推進法に基づき、人や場所、コト（催し）などを活用して、孤立しがちな人の居場所や活動の場を広げ、誰もが暮らしやすい社会の構築を目指します。
52 障害者の地域生活の支援をさらに推進します	障害者の方の日常生活上の困難改善や、自立支援、社会参加促進のための取組をさらに推進します。
53 持続可能な地域社会を形成するため、ダイバーシティの推進を図ります	国や人種、性別、障害の有無、年齢、価値観などの違いに関わらずそれぞれの個性や能力を最大限に発揮できる社会を目指します。
54 インターネット差別・誹謗中傷被害者支援条例を制定します	インターネットでの差別や誹謗中傷をなくし、安心してインターネットを利用できる環境を整えるため、被害者支援条例を制定します。
55 健康診断受診率を向上させます	特定健診やがん検診など健康診断受診率を向上させるため、効果的な受診勧奨や普及啓発を行うとともに、受診しやすい環境を整えるなど、受診者に対するさらなる取組を進めます。
56 動物殺処分ゼロを継続します	殺処分ゼロを継続するため、飼い主への終生飼養の啓発などによる収容数のさらなる減少に向けて取組を進めます。
57 5地域の魅力や活力を創出する取組を進めます	吉田・桜島・喜入・松元・郡山の各地域について、「地域と共に創るまちづくりプラン」に基づき、地域の魅力向上や賑わいを創出し、地域の活性化を図ります。
58 だれもが安全に楽しめるインクルーシブ公園の普及に努めます	こどもや高齢者、障害者等、だれもが使いやすいトイレや公園施設のバリアフリー化、遊具等のユニバーサルデザイン化など、インクルーシブ公園の整備を進めます。
59 多文化共生の地域づくりを進めます	市民と外国人が互いの文化を認め合い、いきいきと安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを進めます。

マニフェストの項目	説明文
高齢者など多くの世代から、これからも選ばれるまち	
選ばれる安心安全なまちを目指します	
60 能登半島地震の教訓を踏まえた防災対策を強化し、災害に強いまちづくりを進めます	能登半島地震の教訓や課題を踏まえ、防災対策の見直しを進め、ハード、ソフト両面から大規模災害に備えた強靱なまちづくりを着実に進めます。また、家屋の部分的な耐震工事や防災ベッド等設置への支援を行います。
61 様々な状況に合わせ避難所の質を確保します	災害時の避難所について、高齢者や障害者、乳幼児等の要支援者やペット同行避難など、避難者それぞれの状況に合わせた質の確保・向上に取り組みます。
62 防災力のICTの強化を図ります	大規模災害時の速やかな状況把握や避難者の安全確保を迅速に行うため、官民連携による災害用ドローンの活用など防災DXを進めます。
63 市民との協働による防災対策を推進します	災害時の避難行動の理解促進や自主防災組織の育成など、市民と協働しながら防災体制を充実します。
64 桜島火山防災研究所を設置し、火山防災トップシティを推進します	大規模噴火においても犠牲者ゼロを達成できるよう、防災研究等を行う桜島火山防災研究所を設置し、防災対策の積極的な情報発信に取り組みます。
65 救命救急体制の充実・強化を図ります	急増する救急搬送への需要対策のため、救命救急体制の充実に取り組みます。

マニフェストの項目	説明文
高齢者など多くの世代から、これからも選ばれるまち	
市民に分かりやすい、より便利な市役所づくりを進めます	
66 市役所へのお問い合わせに対し、A Iチャットボットを導入します	市への問い合わせに対し、いつでもだれにでも迅速に回答できるよう、また、在住外国人、観光客からの問い合わせにもスムーズに対応できるようA Iチャットボットを導入します。
67 町内会回覧板デジタル化など、コミュニティの維持充実を図ります	町内会、地域コミュニティ協議会等の活動支援や回覧板等のデジタル化など負担軽減に取り組み、住民主体のまちづくりを促進し、コミュニティの活性化を図ります。
68 市民サービスの向上と行政運営の効率化を図るため、DXの取組をさらに進めます	ICTを積極的に政策に取り入れ、行政手続きのデジタル化など、市民サービスの向上と行政運営の効率化をさらに進めます。
69 生成A Iの活用推進と運用の安全性を高めます	生成A Iの活用を推進するとともに、運用にあたっては、情報管理や著作権侵害などが起こらないようガイドラインを定めるなど運用の安全性を高め、業務の効率化や市民サービスの向上を図ります。
70 鹿児島市内全域で「市長と語る会」を開催します	市民の皆様には市政の動向をしっかりとご報告し、またご意見を伺い施策に反映させるべく、鹿児島市内全域で「市長と語る会」を開催します。
71 市立病院の機能を強化し、利便性の向上を図ります	I C Tの活用により、患者の満足度向上を図るとともに、病棟を増築し、感染症対応力を強化します。